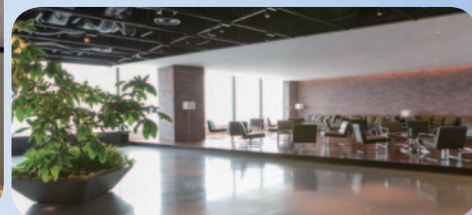
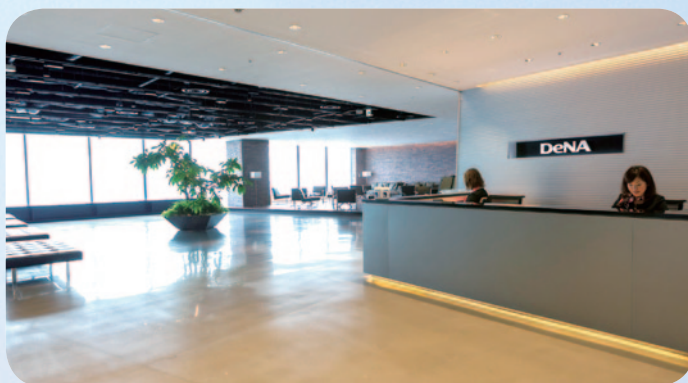


シスコ ソリューション 導入事例

Cisco Solutions Case Study

株式会社ディー・エヌ・エー 様

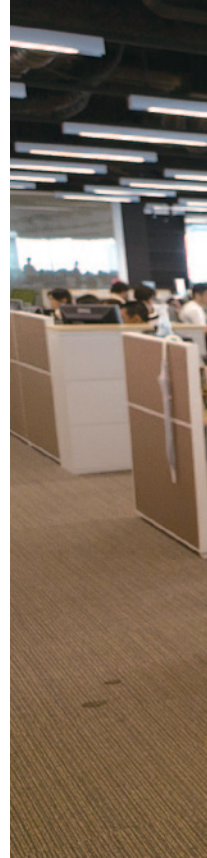


新しい本社オフィスで無線 LAN を大幅に増強 スマートフォンの利用を促進して 社員のコミュニケーションを活性化

ネットワーク サービスやモバイル端末向けアプリケーションで
ビジネスを大きく成長させてきた DeNA は、
本社の移転を機に多数の端末を収容できる無線 LAN 主体のネットワーク基盤を構築。
さらにシスコ ユニファイド コミュニケーションとスマートフォンの連携、
プレゼンス確認など各種ツールによって利便性の向上を図り、
業務のクリエイティビティを支える新しいコミュニケーション環境を実現した。

Interview 01

Communication



経緯

本社移転を機にコミュニケーション環境を刷新 スマートフォンと無線 LAN を重視した構成に

ソーシャル ゲーム プラットフォーム「Mobage」や EC サイトなど各種
サービスを手掛けている DeNA は、2012 年 4 月に本社機能を東京
都渋谷区の渋谷ヒカリエに移転した。新たなオフィス環境の整備にあ
たって、社員が働きやすい環境を実現したいと考えた同社は、従来の
電話システムを IP ベースのものに刷新してスマートフォンとの連携を
強化。また、基盤となるネットワークも無線 LAN を重視した構成とし
ている。これらを支えるソリューションにシスコ製品が全面的に採用さ
れており、コミュニケーション周りではシスコ ユニファイド コミュニケー
ションとフォンアプリの Collaboration Directory (Web 電話帳) を
組み合わせている。

経営企画本部 総務部 部長の原田光輝氏は、シスコを採用した経
緯について次のように話す。

「シスコを採用したのは、信頼性や安定性に対する社内の評価が高
かったことが理由です。弊社の IT 部門から、新しいオフィスはシス
コ製品でインフラを構築したいという話が出ていまして、移転や電話
システムを担当する総務部としても異論はありませんでした。

弊社では、社員のほとんどがノートパソコンを使い、頻りに席を移
動しながら仕事をしています。前のオフィスでは無線 LAN がつなが
りにくいという問題があり、その改善は大きな目標でした。シスコの
協力を得て、我々の思い描くオフィスができたと思っています。」

経営企画本部 総務部の中村真弓氏は、それまでのコミュニケーション
の課題を踏まえ、次のように話す。

「新しいオフィスは、“社員がつながるアイデア創出型オフィス”とい
うコンセプトで、社員間のコミュニケーションを活性化し、クリエイテ
ィブな発想を豊かに持てるようにすることがポイントでした。

以前のオフィスは、ほぼ 1 人に 1 台の固定電話を設けていた
が、社員が席を外していることが多いため、本人と話したくてもな
かなかつながらない、タイムリーに会話できないという課題がありま
した。また、社内の組織変更が頻繁にあるので、レイアウト変更に伴
う電話関連の工事やコストの負担も大きかったんですね。
そこで新オフィスでは、電話やツールをうまく使い、人がつながる環
境を構築したいと考えたのです。具体的には、シスコ ユニファイド
コミュニケーションと Web 電話帳の導入、社員に配布するスマート
フォンと連携したシームレスな内線通話を実現し、固定電話の削減
も進めました。」

以前から社内にはパーティションなどをあまり設けず、オープンな雰
囲気だったとのこと。そうした良い部分はうまく継承しつつ、より優
れた環境を目指したと中村氏は補足する。

効果

オフィスのどこでも快適に仕事ができると

評価は上々

利便性を重視した決断が良い結果に結びついた

シスコ ユニファイド コミュニケーションとスマートフォンの連携は、
社内の無線 LAN が大幅に強化されたこともあり、快適に利用でき
ているとのこと。中村氏は、社員の働き方にも大きな効果が表れて
いると話す。

「ノートパソコンとスマートフォンがあれば、オフィスのどこにいても
自分の席のように仕事ができるので、とても快適です。社内には
“Sakura Cafe”というスペースも設けたのですが、そこでリラックス
しながら仕事をしている社員も多く、各々が自分のスタイルで業務に
取り組めるようになりました。こちらの意図したオフィス環境を整える
ことができ、よかったです。」



固定電話を大幅に削減する一方、社員にスマートフォンを配布することで、コミュニケーション関連のコストは結果的に増えることになったという。しかし、それを大きく上回る利便性があると判断して導入したことが、良い結果につながっていると原田氏は話す。

「弊社はメールでのやり取りが非常に多いので、スマートフォンでさっとメールが見られることのメリットは大きいです。電話としても、話したい相手とスムーズにつながるようになり、便利さが増しました。いつでもどこでも話せる、仕事ができる環境が整ったことは、災害対策を含めた業務継続性の面でも効果的です。」

プロセス シスコの支援で
短期間のプロジェクトを確実に達成
シスコキャピタルのファイナンスプログラムも活用

移転先が新しい施設で、事前の点検期間などの関係から、ネットワークの構築や検証、移転作業のスケジュールはかなりタイトだったという。しかし、移転初日から問題なく業務を行うことができ、これは社内でも評価されていると中村氏は話す。

「オフィスのどこにいても、ノートパソコンも、スマートフォンも、無線LANにすぐつながりましたし、電話も普通に使えました。前職のオフィスでは移転初日にトラブルもあったのですが、今回はシスコのバックアップもあって、これまでになくスムーズでした。」

シスコ ユニファイド コミュニケーション導入で、同社はシスコシステムズキャピタル（シスコキャピタル）のアップグレード キャンペーンも活用した。大量の固定電話など既存機器をどうするか悩んでいた折、シスコキャピタルから既存の機器の買い取りを含めた提案を受けたとのこと。原田氏は、この提案のおかげで、さまざまな負担を削減できたと話す。

「既存機器を買い取ってもらうことで、入れ替え時の機器廃棄の手間がかからず、処分にかかる費用の負担もなくなりました。新しい機材は、もともと購入を考えていたため、リース終了後、弊社の資産となるようにしていただきました。リースではあるものの金利などの追加費用が一切かからず、直接購入したときと比較しても支払総額が増えずにすんでよかったです。ファイナンス面を含め、こちらの要望に柔軟に対応いただき、本当に助かりました。」



原田 光輝 様
経営企画本部
総務部 部長



中村 真弓 様
経営企画本部
総務部



Office



オープンな雰囲気、活発な意見交換が行われているオフィス



Solution

多数の端末に快適なアクセスを提供する無線 LAN 環境の下、
利便性と安全性を両立させたモバイル端末の利用を促進。
オープンなオフィスで、さらにコミュニケーションを活性化させる
使いやすいソリューションとインフラの連携を高いレベルで実現

2011/4

移転検討



オフィスツアー



ワークスタイル
検討セッション



ベンダー選定



└ オール シスコに決定

柔軟な提案と対応でお客様のニーズに応える シスコシステムズキャピタルのファイナンス プラン

シスコキャピタルは、シスコの一員としてシスコの製品、サービスにおけるさまざまなファイナンスをご提供しております。お客様がご導入されるシスコ製品に、独自の残価（将来の機器中古価値）を設定し、トータルコストを最小限に抑えるなど、最新のネットワーク ソリューションをご導入いただくお客様のファイナンス サポートを担当いたします。

1 ファイナンス リース

一般的なフルペイアウトタイプのリースです。

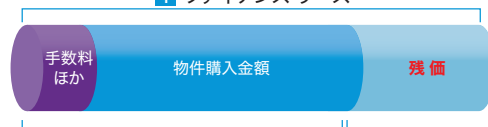
2 FMV リース

グローバルなマーケティング プランに基づき、ネットワーク機器の将来価値を購入金額（元本）から差し引いてリース料を算出しますので、コスト削減を図ることが可能です。

3 0% ファイナンス（支払委託）

買い取りのお客様向けプログラムです。シスコキャピタルがお客様の物件代金のお支払いを最長 1 年まで無金利で立て替えます。

1 ファイナンス リース



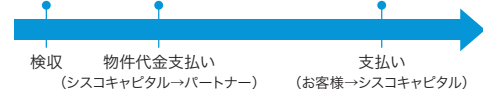
2 FMV リース料総額

機器の将来価格を差し引き

3 0% ファイナンス（支払委託）

365 日金利、手数料 0 円

2011 年 9 月 30 日 2011 年 9 月 30 日 2012 年 9 月 30 日



社員の憩いの場としても人気の "Sakura Cafe"

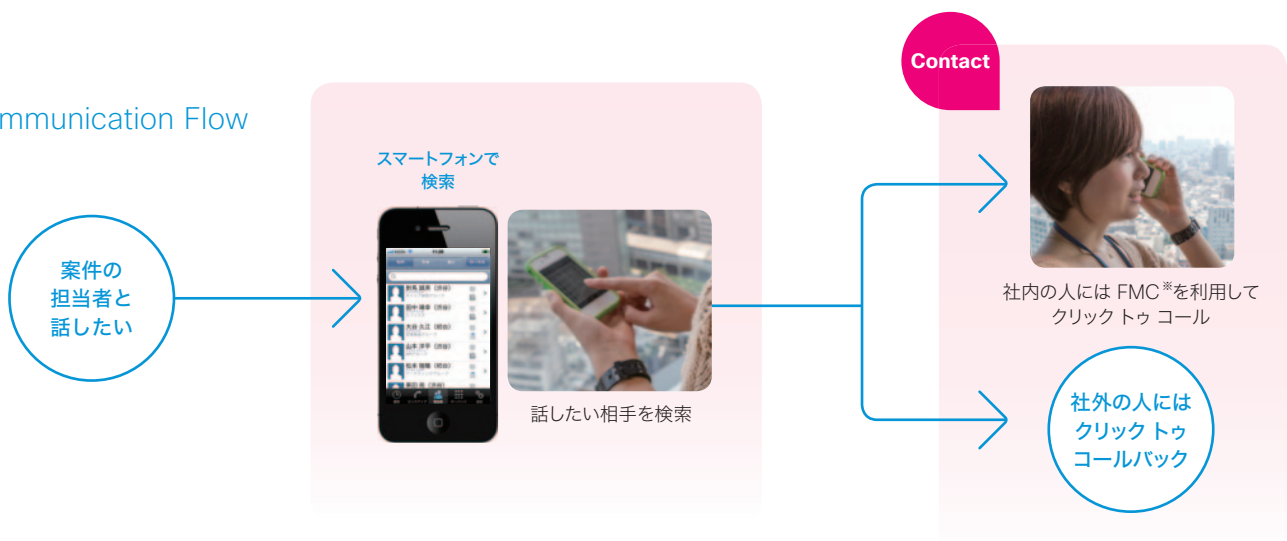


Cafe



Meeting space

Communication Flow



* Fixed Mobile Convergence の略。固定電話回線を使った通信と携帯電話の連携を強化する、通信キャリアのサービス。

2011/9

ネットワーク設計



ネットワーク構築



移転作業



2012/4

運用開始



豊富な経験を活かしてお客様の課題を解決する シスコ アドバンスド サービス

シスコ アドバンスド サービスは、お客様のご要望や計画、課題を伺い、それを基に最適なお提案をシスコが直接行うコンサルティング技術支援サービスです。シスコが持つ 25 年以上の経験と実績に基づき、計画、構築、運用の各フェーズで最適な手法を用いたサービスをご提供します。

- ▶POINT 1
グローバルで高い評価を獲得
- ▶POINT 2
お客様ごとに的確な対応
- ▶POINT 3
高い技術力と広範なカバレッジ



選択

1フロア 1,500 台の端末を収容できる 集中管理型の無線 LAN を構築 安定性とセキュリティを重視してシスコを採用

同社の新オフィスにおけるネットワークは、スマートフォンの全社的な活用を念頭に、無線 LAN を重視したものとなっている。具体的に、どのような要件があったのかを、システム統括本部 IT 基盤部の鳥越昇氏は次のように話す。

「1 人あたり 5 台の端末を持つことを想定して、ネットワークを設計してほしいと言われました。1 つのフロアには 300 人ほどいますので、端末数としては 1,500 台ほどですね。新しいオフィスはフロアがかなり広いのですが、端末の数で考えるとさほどはなくなってしまっているので、そこをいかにクリアするかが課題でした。有線ネットワークはあまり悩むことなく進められたので、無線の部分をどうするかメインに考えていたと思います。

アクセスポイントが多くなるので集中管理型のシステムを採用しており、シスコのワイヤレス LAN コントローラ (WLC) とワイヤレスコントロールシステム (WCS) を導入しています。」

シスコを選択したのは、安定性やセキュリティを重視した結果だと鳥越氏は話す。

「データセンターでいろいろなベンダーの製品を使っている中で、安定性が十分ではないものがあり、それらをシスコ製品に順次置き換えてきた経緯があります。その結果、安定性が向上しているのです、これを新しいオフィスでも使いたいという流れだったと思います。

また、今回はスマートフォン活用の基盤として、セキュリティの強化も重点項目になっていました。シスコは認証周りにも強いという印象を持っていたので、その点でも一番良い選択肢だと考えたのです。」
社内の電話をスマートフォンに置き換えていくというアイデアは、オフィス移転が決まる前から出ていたものだという。システム統括本部 本部長の茂岩祐樹氏は、新オフィスのコンセプトを交えて、次のように話す。「グローバルな環境で、エンジニアが快適にモノづくりを行える環境を整えようというコンセプトが最初であり、その実現に何が必要かを検討していました。スマートフォンを対象としたアプリケーションやサービスを開発している会社ですから、社内でもできるだけスマートフォンを活用したいと思っていましたし、そうした環境を作ることは不可欠だったと言えます。

検証用を含め、1 人で何台も端末を持つ社員が多いので、そこはある程度会社として支給すべきという話や、それだけ端末を持つなら

電話もスムーズに使えるようにしたほうがよいのではないかとといった話も、早い段階から出ていましたね。

そうした流れを経て、“無線 LAN が日本一つつながるオフィスを実現しよう”という大きな目標ができました。有線 LAN のケーブルを机の数だけ用意するのはやめて、コストを抑えるという意味でも、無線 LAN の強化と安定は重要でした。新しいオフィスでは、シスコの協力を得てこれらを実現できたと思っています。」

プロセス

シスコアドバンスド サービスによる 高度な技術支援を利用 優れた対応力のおかげで設計～検証がスムーズに

今回、同社はネットワークの設計や構築に際し、シスコのアドバンスド サービスを利用している。アドバンスド サービスは、ネットワークの計画、構築、運用などさまざまなフェーズで、顧客ニーズに応じた最適な支援を提供しており、その技術水準の高さには定評がある。茂岩氏は、利用の経緯を次のように話す。

「今回シスコに協力いただいたのは、ネットワークのローレイヤーの部分、多数のスマートフォンをどうやってディレクトリ管理するかといった部分、そして無線 LAN の部分です。特に無線 LAN の部分は、相当綿密なやり取りをさせていただきました。

アドバンスド サービスの利用は、シスコの技術力や対応スピードを評価したことはもちろんですが、今回の移転スケジュールが短期間だったことも理由に挙げられます。移転先が新規の物件で、現地での構築作業にかけられる時間が少ない中、しっかりしたネットワークを構築できたのはアドバンスド サービスのおかげです。」

鳥越氏は、具体的な内容を補足する。

「以前はネットワーク周りの認証をあまりやっていなかったのですが、新オフィスでは証明書方式を導入してしっかりやることにしたので、大きなインパクトがあることは分かっていました。有線と無線の環境があり、さらに端末側の OS が多岐に渡るため、それらのパターンを網羅した検証作業を行っています。いくつか不具合も見つかりましたが、シスコのエンジニアで認証周りにとっても詳しい方がいて、スピーディに解決できたのは何よりでした。

移転プロジェクトが完了してからも、運用支援という形でサポートいただいています。」



茂岩 祐樹 様

システム統括本部
本部長



鳥越 昇 様

システム統括本部
IT 基盤部

効果

Web 電話帳との連携で コミュニケーション効率が向上 “話したいときに話せる” シームレスな環境に

無線 LAN の強化、スマートフォンの活用促進は、社内のコミュニケーション改善に大きな効果をもたらしている。シスコ ユニファイド コミュニケーション (IP フォン) とスマートフォンの連携によるシームレスな内線通話は多くの社員がスムーズに活用しているとのこと。検索や発信を担うツールには、フォンアプリの Collaboration Directory (Web 電話帳) が導入されている。経営企画本部 企画部の玉木伯岳氏は、Web 電話帳の選択理由を次のように話す。「選定の際には、ユーザ インターフェイスの使いやすさ、電話を掛ける時の手順 (ステップ数) など運用の容易さを重視しました。人事システムや Active Directory との連携を含め、ユーザが一番使いやすいものを導入したかったからです。誰が何の案件に関わっているか、何のエキスパートであるかといった付加情報をどこまで登録でき、簡便に検索できるかもポイントでした。

フリーテキストで検索すれば、自分が知りたいことを誰に聞けばよいのかがすぐに分かります。あとは、電話をかける、メールを送るなど、最適な方法でコンタクトすればよく、コミュニケーションの利便性は大きく高まっています。

社員が大幅に増え、誰がどこで何をしているか把握しにくくなっていくというコミュニケーションの課題を解決する上で、Web 電話帳は欠かせません。」

鳥越氏は、1 ユーザとして、社内のコミュニケーションがしやすくなったと評価している。

「今までは電話しても相手が席にいないことが多くて、話したいときに話せなかったのですが、新しいオフィスではずいぶん改善されました。逆に、自分がミーティングしているときや、自宅であっても電話がかかってきてしまうという面はありますが、話したい相手を素早く検索できて、スムーズにつながるのはとても便利です。」

活用～
今後

グローバルの多拠点会議を支える ビデオ会議システムもスケーラビリティを増強 Cisco WebEx との連携にも期待

同社はグローバル化が進んでおり、複数の海外拠点を交えた会議の頻度も高まっているとのこと。そうした拠点間コミュニケーションでは、ビデオ会議が活用されている。ここでは、シスコの多拠点接続装置 (MCU) を導入したほか、Web 会議ソリューションの Cisco WebEx も使われている。IT 戦略室 室長の村上淳氏は、次のように話す。

「これまでビデオ会議システムは別ベンダーのものでしたが、同時に接続できる端末が 4 つまでと不足していたので、移転を機に刷新を考えていました。同時接続数もですが、ネットワークの信頼性はやはり大事なので、その点でシスコのソリューションには一日の長があると思っています。また、今後社外の関係者ともやり取りする機会が増えていくことを想定し、既存の端末や幅広いユーザとの接続性、使いやすさも重視しました。

拠点にある端末をいきなり全部変えてしまうとユーザも戸惑うので、そのまま使っているところは多いです。ネットワーク基盤に近いところは今まで以上にスケーラビリティが必要なので、MCU はシスコ製品を導入しました。」

導入時の設定や検証では、アドバンスド サービスの支援も受けて、要件を確実にクリアできたという。お互いの表情を見ながら内容の込み入ったディスカッションを行うときはビデオ会議を、簡潔に意見交換したいときには Web 会議を使うという具合に、適宜使い分けている。今後はビデオ会議システムと Cisco WebEx の連携なども行いたいと村上氏は話す。

「双方の接続は、将来的に実現したいことの 1 つですね。シスコには、より高度なコミュニケーションの実現や、モビリティとセキュリティを兼ね備えた基盤の構築などで継続的に相談させていただいています。今後も、高度な技術力やサポート力に基づいた確かな支援を期待しています。」

Interview 02

Infrastructure



玉木 伯岳 様

経営企画本部
企画部



村上 淳 様

IT 戦略室
室長

株式会社ディー・エヌ・エー

<http://www.dena.jp/>



本社所在地

渋谷オフィス(本社) 東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ

初台オフィス 東京都渋谷区代々木 4-30-3 新宿 MIDWEST

新潟カスタマーサポートセンター 新潟県新潟市中央区万代 2-3-6

創業 1999年(平成11年)3月4日

資本金 103億9,700万円(2012年6月30日現在)

従業員数 連結1,999名、単体843名(2012年6月30日現在)

インターネットオークションから始まったDeNAは、ショッピングモール、モバイルオークション、モバイル広告、モバイルSNS、そしてソーシャルゲームと、次々に時代を切り拓く成長のエンジンを生み出して発展してきました。DeNAはこれからもユーザーに新鮮な便利さと楽しさを届け続けることを目指して、DeNAが誇るテクノロジーとノウハウ、とことん考えぬく企業文化、そして何よりユーザーの声を大切に、新しいことに挑戦していきます。

導入ソリューション

コミュニケーション/ワークスタイル改善

Cisco Unified Communications Manager

Cisco Unified IP Phone

フォンアプリ Collaboration Directory (Web 電話帳)

Cisco WebEx Connect

Cisco TelePresence MCU

ネットワーク基盤

Cisco Aironet 無線 LAN アクセスポイント

Cisco Wireless LAN Controller (WLC)

Cisco Wireless Control System (WCS)

Cisco Catalyst スイッチ

アドバンスド サービス

ネットワーク設計 / 構築支援サービス (新本社移転プロジェクト)

ネットワーク最適化支援サービス (年間運用支援)

©2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2012 年 10 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯電話・PHS 含む)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>